

2024 年度課題研究会活動成果報告書

課題研究会名：NeXEHRs 研究会

設置期間：2022 年 4 月～2025 年 3 月

代表幹事の氏名・所属：大江和彦（東京大学大学院医学系研究科）

幹事の氏名・所属：

黒田知宏 京都大学医学部附属病院医療情報企画部

澤 智博 帝京大学医療情報システム研究センター

松村泰志 国立病院機構大阪医療センター

中島直樹 九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター

活動成果の概要：

本研究会は、次世代健康医療情報の管理に関するあり方を一般社団法人 NeXEHRs とともに年 2 回程度の会議でディスカッションするとともに、合同で 2024 年度に以下の会合、シンポジウム等を開催し、毎回 50 名以上の参加を得た。

- ・一般向けシンポジウムとして、国際モダンホスピタルショウ 特別セミナー（2024 年 12 月 11 日、資料 1）
 - 1) 健康と医療の情報をひとつながりにする NeXEHRs の取り組み
 - 2) クラウド型電子カルテについて考える～内閣府 SIP 事業を通じて～
 - 3) 健康医療データを扱うソフトウェアについて
- ・セミナー（第 14 回セミナー：2024 年 7 月 30 日、生成系 AI の仕組みやサービス事例、第 15 回セミナー：2024 年 10 月 23 日、生成系 AI の仕組みやサービス事例 2）
- ・勉強会（第 13 回勉強会：2024 年 9 月 30 日、HL7 FHIR を用いた導入事例）

また、本研究会の下に 2019 年度に FHIR 日本実装検討 WG を設置しているが(<https://jpfhir.jp/>)、2024 年度は前年度に引き続き、第 49 回から第 59 回までの計 11 回のオンライン会合を開催して HL 7 FHIR JP-CORE の策定作業を進め、2024 年 12 月に JP-CORE V1.2.0 パブコメ版を公表した(資料 2、<https://jpfhir.jp/fhir/core/index.html>)。その後、いただいたコメントを検討し、V1.2.0 正式版の公表に向けて作業を行った。本 WG の登録メンバーは 100 名を超えており、月 1 回のオンライン会合にはコンスタントに 30 名から 50 名が参加している。さらにこれらの活動は、医療情報学連合大会で関連するセッションなどで報告しており、コンソーシアムでも一般公開シンポジウムを開催するなどして、広報にも努めた。

HL 7 FHIR JP-CORE の策定作業の過程では、Terminology の整備が必要であることから、JP-

CORE が使用するコードシステムリソースと値セットリソースをパッケージ化した JP-FHIR Terminology パッケージを開発し、公表した。(資料3)

また、アレルギー情報を記述するためのアレルギー物質コードを開発し、政府の電子カルテ情報共有サービスでも使用可能となるコードシステムリソースとしてまとめ、公表した(資料4)。これについては、今後 HELICS 指針を経て厚生労働省標準化を目指す計画である。

資料 1. 国際モダンホスピタルショウ 特別セミナー, <https://www.nexehrs-cpc.jp/event-information/symposium-20241211/>

資料 2. HL7 FHIR JP Core ImplementationGuide, <https://jpfhir.jp/jpcoreV1/>

資料 3. JPFHIR Terminology Package URL-version1.5.0,
<https://jpfhir.jp/fhir/core/terminology/igv1/>

資料 4. J-FAGY アレルゲンコード, <https://jpfhir.jp/fhir/core/terminology/JFAGY/>

活動成果の発表:

[雑誌論文] 計 1 件

- ① Kawazoe Y, Nagashima S, Yokota S, Ohe K. Development of a code system for allergens and its integration into the HL7 FHIR AllergyIntolerance resource. Int J Med Inform. 2025 Mar;195:105739. doi: 10.1016/j.ijmedinf.2024.105739.

[学会発表] 計 4 件

- ① 中村紀彦, 秋山幸久, 大林正晴, 下邨雅一, 大江和彦, FHIR CDS Hooks 仕様による Clinical Decision Support サービスのプロトタイプ開発, 日本医療情報学会春季学術大会プログラム抄録集, 第 28 回, 170-171, 2024.06.
- ② 大江和彦, FHIR 仕様 CLINS の策定と標準化 特にコード化について, 医療情報学連合大会論文集, 第 44 回, 185, 2024.11.
- ③ 河添悦昌, 大江和彦, 部門検査レポートを含めた医療情報の FHIR による統合管理システムの開発, 医療情報学連合大会論文集, 第 44 回, 877-881, 2024.11.
- ④ 土井俊祐, 能川琴子, 阿久津靖子, 三村沙織, 木村倫人, 河添悦昌, 大江和彦, 感染症届出個票の HL7 FHIR 記述仕様の検討及び感染症サーベイランスシステムへの届け出のあり方に関する研究, 医療情報学連合大会論文集, 第 44 回, 1116-1118, 2024.11.

[その他] 計 1 件

- ① 大江和彦, cutting-edge medicine 医薬品コードの国内外の情勢と標準化 医薬品コード情報の FHIR 記述 (図説), Precision Medicine, 7(12), 949-952, 2024.